

---

# SAKURA

己季

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

SAKURA

### 【コード】

N68650

### 【作者名】

己季

### 【あらすじ】

私は桜に恋をしている



桜が咲いてる。

いつも白いベットの上で

大きな病室の小窓から眺める木。

貴方は私の唯一の友人。

貴方は私の唯一の恋人。

貴方は私の4人目の家族。

その姿は強くて、暖かくて、優しくくて、

可愛いらしくて、寛大で。

でも、気まぐれで、格好つけで、

もろくて儂い。

台風の日には蕾を必死に守って

私の好きな貴方になってくれた。

花が色づくのと、

自慢気に自分を見せつけてきた。

機嫌が悪いと、

わざと私から離れた所に花をつけた。

私が落ち込んだ時は満開になり、

遠足に行けなかった私を

お花見に連れて行ってくれた。

誕生日には一輪の花を。

お祝いには、

一丁前に湯のみに花びらを落としてみせた。

そんな貴方が大好きだった。

貴方が居れば他には何もいらなかった。

でも、

貴方は一瞬で消えてしまうから。

貴方と過ごせるのはほんの一時だけだから。

それから、

私も貴方との別れが近づいているから。

いつも願ってしまっつ。

永遠が欲しい。

永遠の桜がどこかにないだろうか。

叶わない願いを果てしない空に向けて  
解き放つ。

いつか必ず見つけよう。

永遠に繋がる架け橋を。

ありがとう。

それから、

おめでとう。



「叶絵、お友達よ。」

意外とそれは気付かないだけで、

「だれー？」

あなたのすぐそばに…

「桜真くん。」

あ…。見つけたかも。

「退院おめでとう。」

(完)

(後書き)

最後まで読んでいただき  
ありがとうございます。

感想、辛口レビュー等ありましたら、  
遠慮なくお申し付けください。

たくさんのお批評お待ちしております^^

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6865o/>

---

SAKURA

2010年11月3日17時29分発行